

1. ビル風と植栽での留意事項

ビルの角地やビルとビルの中の風、高層ビルの吹きおろし風は通常の風より強くなるので注意が必要となる。

- ① 風が強くなるビルの角地などでは、耐風性のある樹木を植える。
- ② 風が強い場所では、市販の地下支柱では倒木の恐れがある。強度のある支柱を検討する。
- ③ 高層ビルの低層階の植栽では、吹きおろし風を考慮した植栽計画とする。
- ④ 防風植栽では限界があるので、風が強い部分では防風のための構造物との併用とする。

2. 耐風性のある樹木

- ① 耐風性があり、防風植栽に使われる樹木としては、タブノキ。アラカシやマテバシイなどの葉の硬いものやイヌマキなどが強い。
- ② クスノキやシマトネリコは葉を落としてしまう。シラカシは北風に弱いので注意が必要。キンモクセイは強い風が吹く場所では葉を落としてしまうので適さない。
- ③ 中低木では、イヌツゲやウバメガシ、シャリンバイなどが強い。
- ④ 風が強い場所では、花芽が付きづらいので注意が必要。特にサルスベリなど。



・ビル風の影響で葉が茂らないクスノキ



・防風植栽としての7mのタブノキの植栽



・根が浅く風で倒れやすいヒマラヤスギ



・シラカシなどの常緑樹の冬期の植栽での寒冷紗の設置、



・角パイプ支柱使用の13mのドイトウヒの植栽